

1. 2023年12月2日、北九州空港滑走路延長事業着工式が開催されました。



県は、北九州空港滑走路延長事業の実現に向け、国・国交省、関係自治体、関係機関、県選出国會議員、県・北九州市議会と連携を図り、貨物便の誘致や貨物取扱量の増加などの実績を積み重ねてきました。

こうした働きかけにより、北九州空港の滑走路延長が実現することになり、今回の事業着工となりました。

北九州空港滑走路延長により、欧米向けの貨物も北九州空港から直接、輸出できるようになり、福岡県だけでなく、北九州空港の背後圏である、九州、西中国地域の競争力の強化につながるものと期待されています。

2. 「福岡県地域公共交通運転手不足問題検討会議」を開催。

バスやタクシーは、日常生活に不可欠な移動手段ですが、運転手の減少が進んでおり、全国的に運転手不足が深刻化しています。

県内でも、運転手不足により路線バスの減便や廃止が行われるとともに、エリアや時間帯によってはタクシーの供給が需要に追いつかない状況が発生するなど、地域公共交通の維持・確保に懸念が生じています。

2024年4月から「運転手の労働環境を改善するための労働時間規制の強化」、いわゆる「2024年問題」が顕在化するため、運転手の確保が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本県では2023年11月29日、学識者、交通事業者、行政機関で、「バス・タクシーの運転手確保策等会議」を開催しました。

3. 「福岡県子ども食堂応援プロジェクト」子ども食堂に県産食材配付しました！

県内の子ども食堂を応援するため2023年5月17日に開始した「福岡県子ども食堂応援プロジェクト」のふるさと納税による寄附額は、目標の800万円を大きく上回る12,074,600円となっています。

頂いた寄附を活用し、県内の子ども食堂に福岡県が誇る美味しい県産食材を届けます。

①寄附の状況：1,207万4,600円（23/11/24 現在）

- 個人版（クラウドファンディング型ふるさと納税） 8,477,600円（111人）
- 企業版（企業版ふるさと納税） 3,597,000円（8社）

②寄附金の使い道

「福岡県子ども食堂ネットワーク」を通じて食材の購入や保管、運送の費用に活用します。子ども食堂に福岡県が誇る美味しい県産食材を届け、子どもたちに食べてもらい、子どもたちの笑顔あふれる社会づくりを進めます。

○配付食材等（1箇所あたり標準）

- ・金のめし丸元気つくし 25kg
- ・はかた地どり 7kg
- ・農協全国商品券

○配付子ども食堂数（申込数）：227箇所
（2022年度子ども食堂数281箇所の約8割）

○配付時期：2023年12月7日～12月15日



福岡県議会議員 原中誠志 県政事務所を移転しました

これまで13年間に亘りご愛顧賜りました六本松事務所ですが、ビル再開発により立ち退き、移転となりました。「福岡高等裁判所」の東側（左手）に新事務所を構えましたので、お近くにお寄りの際は、是非ともお立ち寄り下さい。（谷2丁目セブンイレブンの右隣りです）

〒810-0031 福岡市中央区谷2-14-13 セッション六本松A
電話：092（406）9390 FAX：092（406）9391
MAIL：info@haranka.jp （電話、FAX、メールは変更なし）

